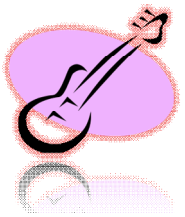

青少年たちの集い・学び・結ぶを実現する「桜まつりライブ」

薄曇りの４月４日（日）。この春の一日、総合学習センターは熱気に満ちた「夏」だった。

当日は、「さがみはら市民桜まつり」の二日目。実行委員の若い力と熟練の力が合わさって大きな力となって「桜まつりＬＩＶＥ」を作り上げ３１４名の来場者に実力を披露しました。

この「ＬＩＶＥ(ライブ)」は、音楽活動を題材にして「地域活動に青少年が主体的に参画することを促す」ことを基本的な目的とした事業委託形式の講座事業です。当日を迎えるまでに、ライブ当日構成や音響・照明機材の操作方法の習得のみならず、広報の方法までの広範囲にわたる相互学習を重ね、当日のライブ運営でその学習成果を結実させるものです。

出演したアーティストは、実行委員会組織内からの１３組。演奏の実力レベルは様々ですが、学習で共有した時間が互いをフォローすることの大切さを育み、午前１０時から午後４時３０分まで終始ライブを盛り上げました。

出演者からは「手作りのライブが魅力」や「他のミュージシャンとの交流が楽しい」など、ライブで演奏する楽しさ以上に音楽という共通のテーマで新たな発見や人と人とのつながりを感じたようです。

本事業は行事を作り上げる達成感もありますが、公募で集まった実行委員の相互の学びあいの過程で「集い」「学び」「結ぶ」を実感できる貴重な社会教育事業の一つです。

校内LAN整備が完了

相模原市内の小･中学校全校に校内ＬＡＮとコンテンツサーバが整備されました。このシステムと大型デジタルテレビの導入により、学校のＩＣＴ化が一段と進むことになります。

例えば、コンテンツサーバに記録した画像や録画したデジタル番組を、教室にある大型テレビのリモコンを操作するだけで視聴できたり、授業中に気になった言葉を、教室からインターネットで検索して調べることができるようになりました。

このシステムを授業で有効に活用するために、総合学習センターでは学校を会場にして校内ＬＡＮ関係の研修をすすめていきます。

また今後は、サーバに記録するコンテンツの整備についても取り組みを進めていきます。

＊ ICT とは、情報通信技術（Information and Communication Technology）の略です。

ネットパトロール

総合学習センターでは、子どもたちの学校裏サイトやプロフィールサイト等の利用実態を把握し、必要に応じて学校に情報提供を行うために、昨年７月１日より学校裏サイトなどの検索を行っています。

最近は、携帯電話で簡単に作れる個人プロフィールサイト（プロフ）に、個人情報や写真を安易に載せてしまう事例が目立っています。

サイトへの誹謗中傷の書き込み、不適切な画像の掲載、個人情報の悪用がないか、これからもネットパトロールを続けていきます。

詳しくは総合学習センターのホームページに掲載しています「ネットパトロールだより」をご覧ください。